



次世代コラボレーション基盤と新しいワークスタイル SaaS Workで21世紀型の社会を

本資料は弊社下記資料の抜粋版です

次世代型ワークスタイルSaaS Workで劇的経費削減
次世代型Webコラボレーション基盤SaasBoard

SaasBoard

ニューロネット(株)

代表取締役 前川博文



骨子

- 資源、人、資本を地域的に集中させて富を得る20世紀型の産業形態には限界が来ている。21世紀型の産業形態(働き方)への移行が必須。
- 限界の表出として、CO2排出問題、エネルギー問題、都会と地域の格差問題、途上国の産業追い上げ(高価格問題)、少子化社会、知価社会への価値移行などがある。
- これらの問題に『移動を減らす』ということが大きく貢献する。
例えば通勤不要(最小化)を仮説すれば、交通、不動産、電力等の社会インフラへの過度な依存を減らし、結果、低エネルギー消費社会、クリーン社会、地方と中央差の無い社会、女性の力の再活用、等々の社会が実現する。
- 70年代米国発のテレワークは通信事情、コンピュータ性能、価格等で滑走状態が長く続いていたが、近年のWeb会議登場で本格的離陸期に入った。
- 「みんながつながる接続性」、「みんなが使える低価格性」を備えたWeb会議を電話に代わる(補完する)社会基盤とすることで20世紀型問題を解消し、『21世紀型』社会への移行が可能となる。



21世紀型仕事形態への移行

20世紀型仕事形態



集中

移動を低減する



21世紀型仕事形態



分散

移動しないSOHO
時間のゆとり





社会インフラ依存度低減で21世紀型社会

移動の低減により、社会インフラ依存すなわち、

- ・通信費や電力使用過大依存
- ・JRや営団への交通依存
- ・オフィスビルの賃貸依存

を減らすことにより...

地方・中央の差縮小

ワークライフバランス

エネルギー低消費社会

新雇用創出

CO2排出削減

社会インフラ

通信
(NTT/KDDI/SB)
電力
(東電/関電..)

交通
(JR/営団/バス
JAL/ANA)

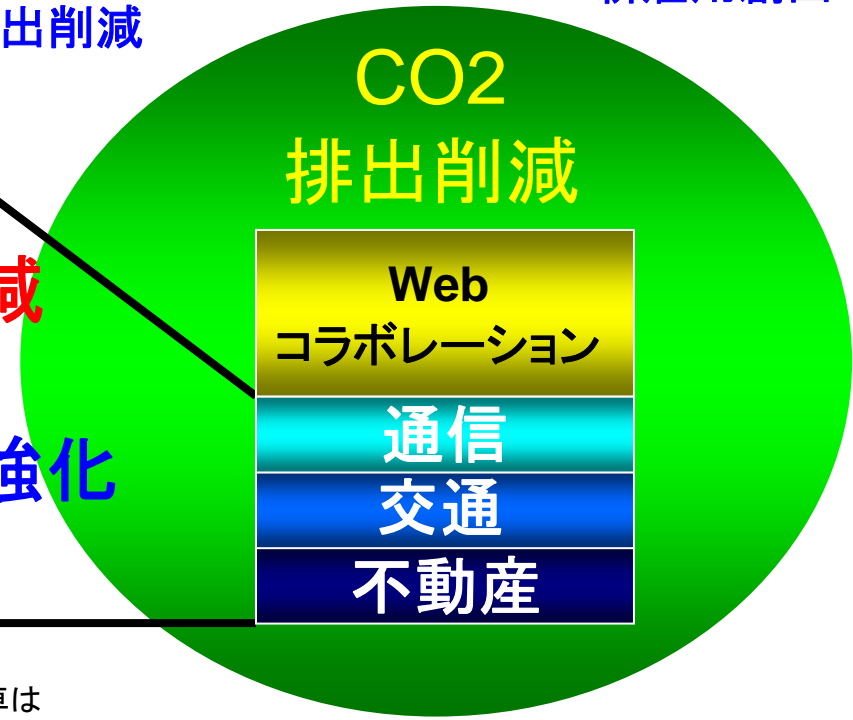
不動産
(オフィスビル)

社会インフラ
依存度低減

劇的経費削減



日本経済の強化



中国や韓国に劣勢となりつつある電機・自動車は機能や品質ではなく、価格(高コスト)で負けている。



変革を生むための新たな仕組み

過去、変革を起こした新たな仕組み

会うことでしか話が出来なかった時代
= 移動に多大な時間

電話

会いに行かなくても
時間の短縮

宿泊出張でしか会えなかった時代
= 宿泊時間の無駄

新幹線

宿泊しなくても
時間の有効活用

「会う」か「電話」しか伝えられなかった
= タイミングのロス

メール

「今」でなくても
非同期伝達による効率化

移動の低減

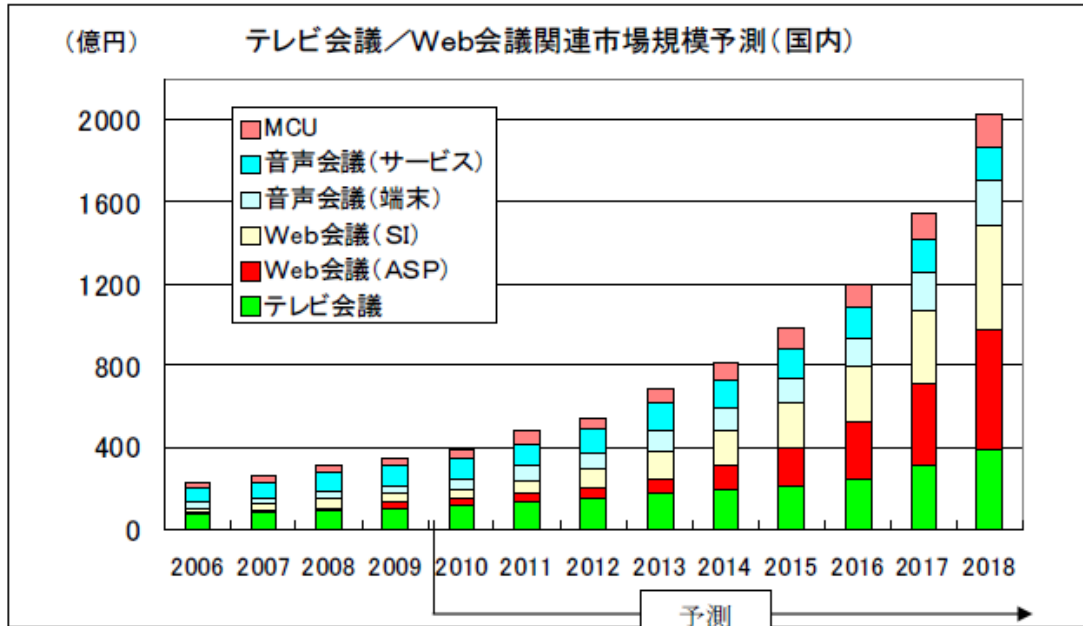
Webコラボレーション(Web会議)で
21世紀型ワークスタイルSaaS Work

劇的●●変革

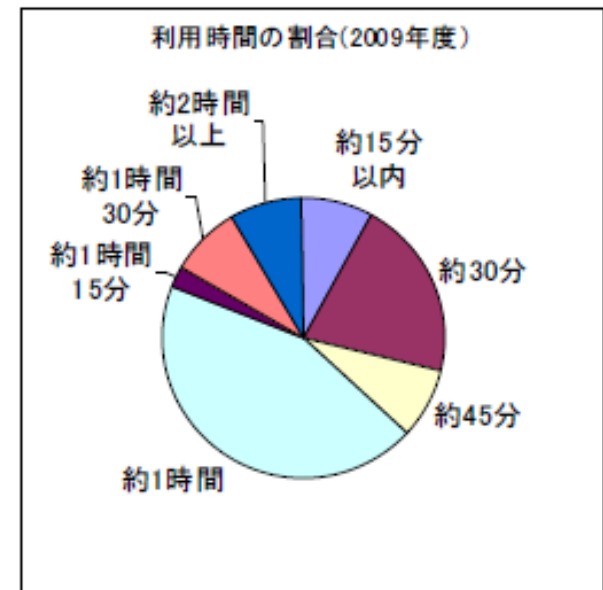
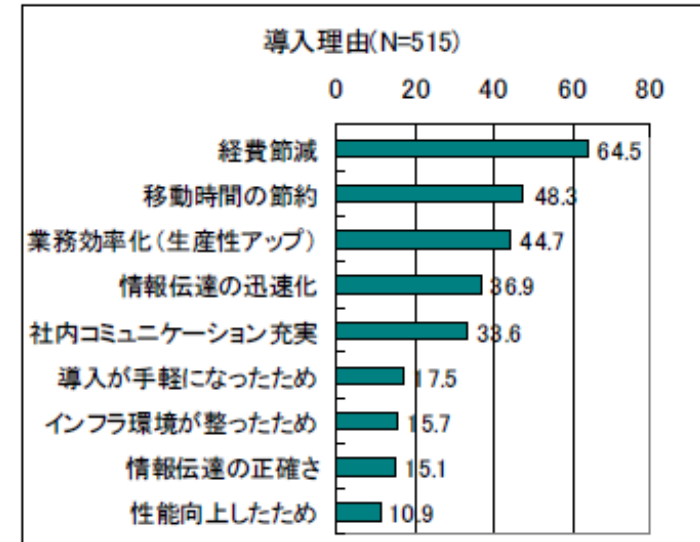
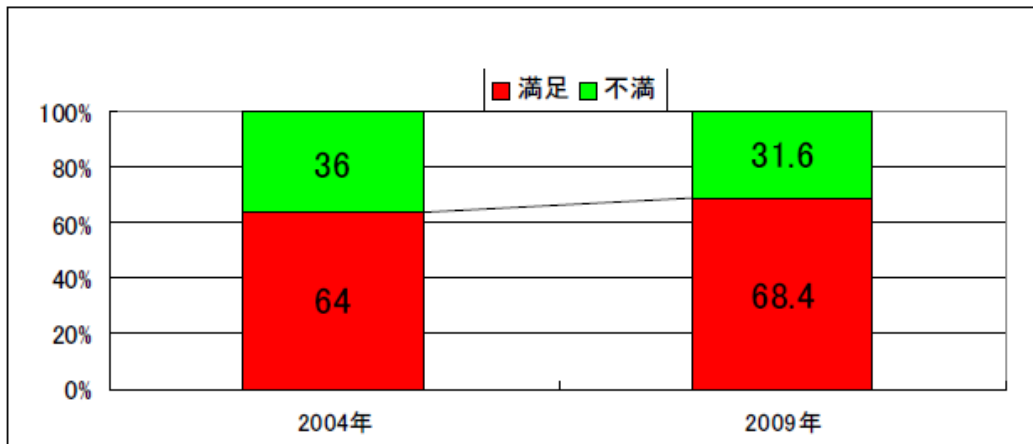
「仕事」、「経費」、「環境」
「時間」、「距離」、「社会」
「産業」、etc.etc



Web会議をとりまく業界動向



テレビ会議満足度



出展: シードプランニング調査



Web会議比較(雑誌記事)

テレコミュニケーション」10月号 『Web会議選びのポイント』P41より抜粋

社名		ブイキューブ	ジャパンメディアシステム	NTTアイティ	シスコシステムズ	ニューロネット	
サービス名		V-CUBEミーティング	LiveOn	MeetingPlaza	WebEx	SaaSBoard	
契約形態		会議室型	ID型	会議室型	会議室型	ID型	会議室型
料金	初期費用	4万7250円	8万1900円/ID	3万円～*1	要問い合わせ	なし	
	料金形態	定額/従量	定額	定額/従量	定額	定額	
	月額料金*2	8万3895円	3150円/ID	4万5000円～	7000円～	2980円/ID	9800円～
環境	対応OS*3	Win/Mac/Lin	Win	Win	Win/Mac/Lin	Win/Mac/Lin	
	対応言語	日・英・中	日	日	10カ国語	日・英	
必須機能	映像交信	○	○	○	○	○	
	音声交信	○	○	○	○	○	
	ホワイトボード	○	○	○	○	○	
	ファイル共有	オプション	○	○	○	○	
	デスクトップ共有	オプション	オプション	×	○	○	
便利機能	アプリ共有	オプション	オプション	○	×	○	
	テキストチャット	○	○	○	○	○	
	メディア再生	×	○	×	○	○	
	録音録画	○	○	○	○	○	
	ファイル転送	○	○	×	×	○	
	HD映像	×	オプション	×	×	オプション	
招集・予約	アンケート	×	○	○	○	×	
	プレゼンス	×	オプション	×	×	×	
	スケジューラ	×	オプション	○	○	×	○
	SNS	×	×	×	×	○	×

*1 同時接続数により異なる *2 定額制の料金を表示 *3 Win: Windows、Lin: Linux (OSごとの対応状況は要確認)



次世代型Web会議(コラボレーション)の要件

次世代型要件	内容	SaaSBoard	他社
企業間、業界間、国際間コラボレーション時代に対応できる構造であること	これまでのように、社内会議(拠点)のみを対象ではなく社外、国外ともシームレスにつながる構造	Society間通信(マルチテナントとテナント間通信)が可能な構造を持つ	△
クラウドコンピューティングで動く、その特性を生かす形であること	OSやブラウザに依存しないこと。通信ポートの制限が無いこと。セキュリティが堅牢なこと。運用形態に柔軟性があること	左記の条件全てクリア	△
会議システムに止まらず、情報蓄積・検索・再利用・配布という知識価値サービスとして利用できること	単に会議のための音声・映像システムではなく、情報共有コミュニケーション基盤となりえること。	SNSプラットフォームによる情報共有・検索・再利用・配布の構造と、HTMLを含めた全てのコンピューターリソース利用が出来るWebボードを持つ	×



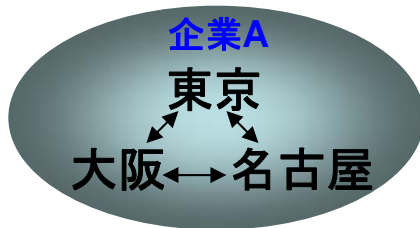
他のWeb会議との違い(優位性)

SaaSBoardは単なるWeb会議とは違い、企業間、国際間で使える、知価創造型Webコラボレーションサービスです。

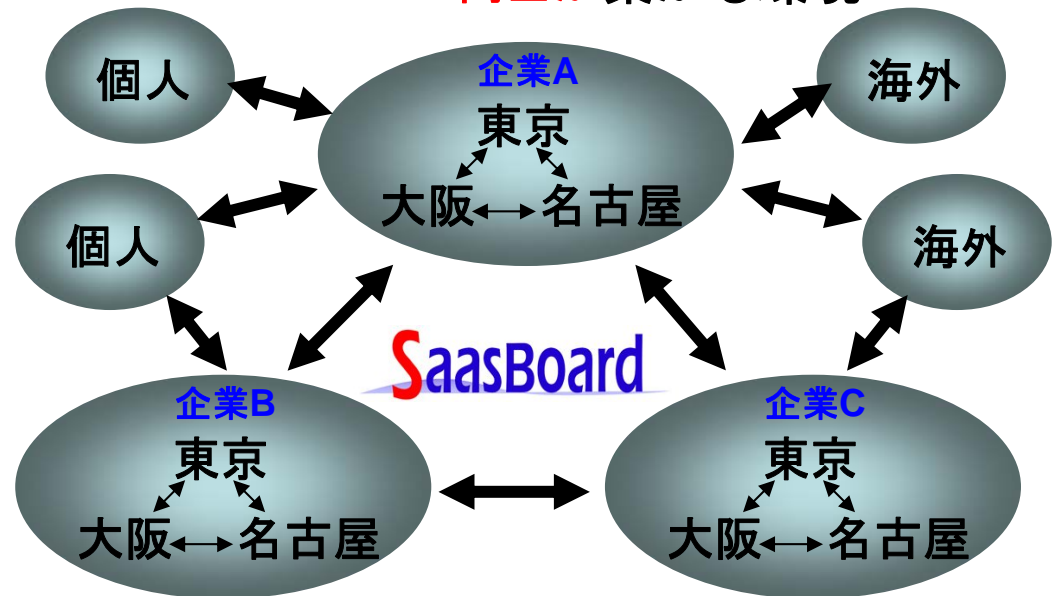
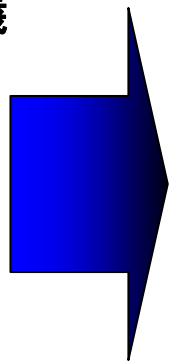
1. Society間通信で真の企業間、国際間コラボレーションが出来ます。(SaaSBoard同士がつながる)
2. 強力なWebボードとSNSを中心に『知価創造型』グループウェア機能を有しています。
3. コラボレーションに向くID型、会議やセミナーに向く会議室型、両方のタイプをサービスできるのはSaaSBoardだけです。
4. 月額使用料は他社の1/3~1/5以下の価格です。初期費用無し。

SaaSBoard同士が繋がる環境

従来のWeb会議会議



自社内の拠点間コミュニケーションが主な目的。
外部はメール招待程度



真の企業内・企業間・国際間コラボレーション



他社との価格比較

会議室型V社サービス

10拠点月額: 83,895円
初期費用: 47,250円

$83,895円 \div 10 = 8,390円/月$
 $47,250円 \div 12 \div 10 = 394円/月$
 $8,390円/月 + 394円 = \mathbf{8,784円/月}$

ID型J社Lサービス

1ID月額: 3,150円
初期費用: 81,900円

$81,900円 \div 12 = 6,825円/月$
 $3,150円 + 6,825円 = \mathbf{9,975円/月}$

1ID月額1,280円とPRする会社

1ID月額: 1,280円/月
初期費用: 3,000円
サーバー開設料: 39,800円
会議室追加料金: 600円/月
 $3,000 \div 12 = 250円$
 $39,800 \div 12 = 3,317円$
 $1,280円 + 250円 + 3,317円 + 600円 = \mathbf{5,447円/月}$

SaaSBoard/Collabo

エントリーコースは1人(拠点) **980円/月**
ビジネスコース標準ID価格は1人(拠点) **2,980円/月**です。
ビジネスコースは外部societyのIDを会議招待することが出来、
無料コースの登録者なら3名まで招待できます。
つまり、 $2,980円/月 \div 4 = \mathbf{745円/月}$ でフル機能で会議が出来ます。
しかも、会議室数無制限で多数の同時並行会議が出来ます。

SaaSBoard/Room

最大会議参加人数価格が違うRoomタイプを一人当たり単価で見比べてみましょう。最もエコミーな6名同時参加のRoom6では
 $9,800円/月 \div 6拠点 \div 1,600円/月$ 、36名用Room36では
 $58,800円 \div 36 \div 1,500円/月$ 。つまりRoom型は 拠点あたり
1,500円/月~1,600円/月です。

SaaSBoardはどのコースも**初期費用無し**。定額制の月額オンリーです。ですから上記価格は正味単価です。

SaaSBoardの場合にはどのようなコースを選んでも1拠点あたり月単価は **745円/月~2,980円/月**
これに対し他社の場合は、一見低価格に見えても初期費用やその他の費用が月額以外に必要となり、
1拠点あたり月単価が**5,000円/月~1万円**です。実に5,000円/月を下回ることは無いのです。

ニューロネットは『劇的経費削減』を実現し、価格へのコスト転嫁を極小化し、
お客様へ低価格という形で還元しています。



SaaS Workの推進・拡大

(テレワーク) ||

- 産業総コスト低下による日本経済の強化
- エネルギー低消費社会によるクリーン環境推進
- 社会インフラ低依存による資源依存型から知価社会への転換
- 地方と中央差の縮減、ワークライフバランス実現

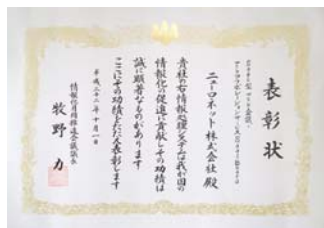
基盤条件

- 低価格でみんなが使えること
- みんながつながる接続性・構造を持つこと
- 操作性・安全性が高く使いやすいこと

SaaSBoard を使った実証実験を！！



SaaSBoardの表彰・認定



平成22年度 情報化促進貢献個人・企業等
情報処理システムに関する大臣表彰等
情報化月間推進会議議長表彰 受賞



社団法人コンピュータソフトウェア協会
平成22年度第7回
アライアンス大賞奨励賞受賞



2009年度 情報処理学会
マルチメディア・分散・協調と
モバイルシンポジウム(DICOMO)
野口賞と優秀論文賞同時受賞



独立行政法人 情報処理推進機構
INFORMATION-TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

情報処理推進機構(IPA)「未踏IT人材発掘・
育成事業」スーパークリエイター認定



会社案内

ニューロネット株式会社

設立: 2002年4月

資本金: 1,000万円

代表者: 前川博文

所在地: 東京渋谷区神宮前 4-1-24 オフィスイワタ第一2F

電話: 03-3202-2992

お問い合わせ: info@neuronet.co.jp <http://neuronet.co.jp>

前川博文 ニューロネット株式会社 代表取締役
技術士(情報工学) 文部科学省 1996



IT外資系の日本法人複数社を代表取締役として立ち上げ後、独立行政法人産業技術総合研究所(産総研)において、研究成果、知的財産のベンチャー事業化を、招聘スタートアップアドバイザーとして指導にあたる。産総研在籍中、久保田氏の研究に着目し、インターネットサービスSaasBoard事業起業。SaasBoardで『移動』を減らし、地方と中央の格差縮小、CO2排出削減、社会インフラ依存低減を推進している。

久保田秀和 ニューロネット株式会社
執行役員最高技術責任者
博士(工学), 東京大学 2004



京都大学大学院情報学京都大学、(独)産業技術総合研究所において、情報可視化、会議支援およびグループウェアシステムの研究員を歴任。日本学術振興会が選抜する特別研究員として採用された我が国トップクラスの若手研究者であり、その成果は国内外の学会で広く認められている。SaasBoardの開発者。情報処理推進機構(IPA) 2008年度下期「未踏IT人材発掘・育成事業」スーパークリエイター認定。